

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報



2022年7月15日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4

☎045-453-8386

<http://tomoni-people.net/>

☆☆☆ グループホーム（メゾンほっと）を開設します！☆☆☆

2021年5月、法人ビジョン委員会はグループホームの実務に詳しい小田敏子理事を講師にグループホーム勉強会を行いました。小田理事は横浜市におけるグループホームの歴史から話を説き起こしました。

精神障害者の支援に関してはそれなりの経験、蓄積を持つ市民の会ですが、グループホームの運営は初心者です。歴史、それに伴う様々な法律の変遷、グループホームのあるべき姿など、学ぶことはたくさんありました。

1992年に当時の厚生省によって精神保健福祉法の中で精神障害者地域生活援助事業（グループホーム）が制度化され、それから30年後の2022年、共に歩む市民の会はグループホーム事業へと手を挙げて、設置について横浜市から選定されることとなりました。

市民の会らしいグループホームとはどういうものかという事も繰り返し討議されました。法人として、心の病を抱えた方たちが地域で安心して暮らせることを目的に横浜市との協働で旭区生活支援センター「ほっとほっと」を運営してきたという事が一番の強みです。

これまでの取り組みを踏まえて、当事者のライフステージに応じた地域生活の場として退院促進や、「親なき後」等を見据え、精神科病院からの退院希望者、自立を考えている当事者方々にぜひ入居をご検討いただきたいです。

また、計画相談やホームサービス管理の個別支援計画をもとに一人ひとりのニーズに合わせた支援、いわゆるワンストップ型の支援を行いたいと思います。

グループホームの名前は「メゾンほっと」、ホームの形状はシェアハウス型です。居室は6室で各部屋にトイレ、収納スペースが付いています。

場所は旭区内、バス停はすぐ目の前です。ホームの裏手にはのんびりと歩ける散歩道、自動車は通らない遊歩道が伸びています。

「不安の正体 精神障害者グループホームと地域」という映画があります。副題には「ほんとに怖いのはなんだろう」とあります。知らないこと、見えないことに関してどうしても拒絶反応を示して



しまうのは仕方がないことかもしれません。ですから私たちのグループホームは地域の方々と仲良く、挨拶しあえる関係、グループホームのお食事会に近隣の方々に来ていただけるような、そんなグループホームを目指したいと思います。

——メゾンほっと入居者募集中です——

【募集人員】 6名（性別不問）

【入居対象者】 ①精神科治療を受けている方

②一定の自活能力があり、グループホームの主旨を理解し、共同生活を送れる方

③原則として日中通える場を持っている方

④入居までに障害支援区分認定を受けている方

【費用】 家賃

7帖タイプ（居室1～5）：39,000円/月

5帖タイプ（居室6）：24,000円/月

光熱水費【実費】 12,000円/月程度

日用品費・食材料費 【実費】

※修繕積立金（任意） 50,000円（分割払い可）

※Wi-Fi環境が整っています。

生活保護受給者・市民税非課税世帯の方は
特定障害者特別給付費（10,000円）が支給されるため、実質支払額は10,000円を引いた額になります。

【生活について】 シェアハウス型（キッチン・食堂・浴室・洗面所など共同、トイレ・収納は各居室）です。

*個人の空間とプライバシーを確保しつつ、職員のサポート、仲間（入居者）等とのつながりを持ちながら生活します。

*皆で話し合い、一緒にホームを創っていきます。

*食事は基本的に各自で準備して下さい。

【ホーム概要】 入居定員 6名

☆メゾンほっとでお手伝いいただける方も併せて募集中です。

法人にとって初めてのグループホームです。設立準備等で大忙しの毎日ですが、開設後もしばらくそんな状態が続きそうです。アルバイト、ボランティア等でお手伝いいただける方を探しています。

ぜひやってみたいという方がいらっしゃいましたらご一報ください。

【グループホームで暮らして】

サンハイム入居者 広瀬美希

私たちの朝はあたたかな声から始まります。

ひとりが行ってきます、と言えばみんなの行ってらっしゃいの声。

通所先はデイケアや作業所と、入居者により異なりますが、帰宅後はみんな笑顔にたどり着いています。

月曜日と水曜日は特にみんな明るいです。

そう、食事会があるからです。メニューは事前に発表されることはありません。楽しい雰囲気、まだかな、と心待ちにしているみんながいます。



そして、土曜日には共同スペースの掃除をみんなでいき、
消耗品があれば、入居者2名が買い物へ出発します。

それ以外、入居者は基本自由な生活を送っています。
料理を行う人、ウォーキングをする人、ヨガをする私。

しかし、時には問題点が“自由の中”に潜んでいるのです。
例えば、ごみの捨て方を間違えたり。その問題をどう解決していくか。

メンバーミーティングもありますが、問題が見つかった時は入居者それぞれが、まずスタッフに言う前に教えあう。それは、人へ伝える難しさにも直面しますが、声をかけあう事は自分自身と誰かの心を支援する事にも通じると思います。

そして、問題点以外にも、お互いの“声かけ”により、お互いの自由な暮らしは成り立っているのだと、日々感じています。

血の繋がりはない家族。でも、どこも繋がっていないかと心に問いかけると、それは違うと答えが出ます。個々の色褪せないぬくもりでできた家。そのひとつこそ、グループホームではないでしょうか。

【総会報告】

さる6月9日、ぱれっと旭多目的ホールにて第18回共に歩む市民の会総会が開かれました。思い返せば一回目の緊急事態宣言が解除された直後の2020年度ほっとぽっと別館での総会。そして2021年は会場こそはぱれっと旭でしたがまだまだ感染状況が厳しいという事で人数制限をやむなく行い、ご来賓をお招きすることもできませんでした。そしてやっと今年、来賓として福祉保健センター長の亀井氏、高齢障害支援課課長國分氏、同係長篠崎氏をお招きして通常総会にかなり近い形で開催することができました。

今回の総会での特筆すべき事項といたしましては新規事業の開始があります。冒頭でもお知らせいたしましたが、長年の懸案事項であった新規事業に着手する新しいステップを踏み出す一年となります。

すでに2年半以上続いたコロナ禍です。なかなか終息の兆しとは見えてきませんが、明けぬ夜はないとも言います。長いトンネルから明るい日差しのもとに出ていくように、共に歩む市民の会も明るい未来を目指して進んでいきます。



総会終了後の集合写真
実に2年半ぶりにマスクを外して
写真を撮りました



【第85回理事会報告】

日 時： 4月28日（木）18：30～21：00 場 所： ほっとぽっと別館
出席者： 理事：8名 職員1名

<報告事項>

- ① 令和3年度監査結果について

<審議事項>

- ① 共に歩む市民の会の定款の改定について
- ② 第18回通常総会議案書について
- ③ 旭区生活支援センターほっとぽっと移転について
- ④ グループホーム新規設置について

2022年7月～2022年11月 市民の会・ほっとぽっと スケジュール

びあくらぶ

- ・つどい 7月19日 8月は納涼会 9月20日 10月18日 11月15日
テーマトークを行います。
- ・納涼会 8月16日(火)14時～
なんちゃってスイカ割大会(ビーチボール叩き!)を外で行います。詳細は乞うご期待！

ほっとぽっとからのお知らせ

- ・本館別館ミニ清掃 秋にまた実施します。
- ・スタッフルームのレイアウト変更のお知らせ 業務改善の目的で机を増設するため、ドア側の室内通り抜けができなくなります。通路は廊下をご利用下さい。ドアは空いていますので、お声かけ、相談は今まで通りできます。
ご理解ご協力をお願いします。
- ・家族のたまり場 6月より再開中
- ・旭区地域自立支援協議会 精神連絡会 定例会 8月3日(水) 11月2日(水)
- ・旭区精神保健福祉セミナー 令和4年度も開催することが決定、実行委員会が始まりました。
テーマ、タイトル、内容のアイデア募集中

※常日頃からの法人へのご協力を感謝いたします。

12月から6月までに寄付をいただいた方（敬称略）

金品寄付：吉田和子／丹羽真里／宮川博／阿部祐介／伊達和子／
曾我新吉／岡林郁子／徳久和彦／郡山隆行

物品寄付：小川昭男／日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)／
富永久雄／長谷川京子



編集後記：うれしいご報告の会報となりました。このままコロナも終息に向かうのかと思いきや、また感染者が増えている今日この頃。だけど動きを止めることはできません。コロナとうまく付き合いながらやっていく所存です。國井

